

平成20年度 7月分NGO相談員事業従事報告書2

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

今月は、地域のNGO団体から、新しいステップに踏み出すにあたっての相談がいくつか寄せられた。東北のNGOは、小規模であったり資金不足であることから、活動が停滞気味の団体も少なくない。そんな中でも、なんとか活動を継続し経験を積むことで、活動を次の段階に進める努力をしている団体が出てきている。NPO法人化など組織の基礎的な基盤整備から進めなければならない団体も多いが、活動を続けていく意欲がある団体には積極的にサポートをしていきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	企業のCSR活動について
相談内容	企業のCSR(Corporate Social Responsibility)担当者からの相談。 タイ、ベトナムに工場があり、それぞれで独自のCSR活動を行なっている。今回、本社として統一したCSR活動を国際協力分野で取り組みたいと考えている。NGOをパートナーとして、プロジェクトを行ないたい。貴団体との連携は可能だろうか。
対応内容	共同プロジェクトの可能性を探っていくことで同意した。 双方の関心のある開発分野、国・地域、現地のニーズを考慮し、企業が持つ国際協力に活かせる強みなどを検討した上で、プロジェクトの内容を詰めていくこととした。後日、より具体的な打合せを行なう予定。
特筆した理由	企業のCSR活動とNGOの連携は、国際協力の普及、MDGs達成のために重要である。地方ではあまり進んでいないが、今後重要性が増していくトピックであり、当団体としても力を入れている分野のため特筆した。

2	プロジェクト立ち上げ支援
相談内容	小規模NGOからの相談。 これまで、ネパールで小学校への給食支援、栄養指導、保健衛生分野の支援を行ってきたが、プロジェクトが終了したので新規案件のスタートを検討している。ネパールだけでなく、タイ、カンボジアにも視野を広げ、団体の経験に適した対象地区を探している。情報収集を手伝ってほしい。資金面は、公募中の国際ボランティア貯金への申請を検討しており、早急に立ち上げたい。
対応内容	団体の希望を聞き取り、アドバイスを行なった。 これまでの経験を活かしたプロジェクト形成も大切であるが、それ以上に支援対象のニーズ分析が重要である。どのような支援が求められているのか、現地の状況はどうなっているのか、カウンターパートは見つけられるかなどを、十分に検討する必要がある。後日、相談員が団体を訪問し、打合せを行なうこととなった。
特筆した理由	少人数のボランティアで活動している地域団体であるが、長期にわたって活動を継続し、今回も新規プロジェクトの立ち上げに意欲的である。このような団体の支援を積極的に行っていくことが、NGOの裾野を広げていくためには重要であると考えたため特筆。

3	NPO法人化の相談
相談内容	地域団体からの相談。 団体を設立してから約10年が経過した。活動も充実してきたので、団体を任意団体からNPO法人化してはどうかとの意見がメンバーから出ている。法人格の取得法、メリットなどについて、教えて欲しい。
対応内容	当団体の経験を踏まえ、情報提供とアドバイスを行なった。 NPO法人格は、各種助成金や委託事業の申請時に問われるケースが多くなってきており、今後も活動を充実させていくのであれば、取得するメリットは大きい。また社会的な認知度も高まるため、支援も集めやすくなるだろう。手続き方法等については、後日打合せしアドバイスをしていくこととなった。
特筆した理由	東北では、任意団体として活動をしているNGOが多いが、徐々にNPO法人化する動きが高まっている。この支援もNGO相談員としては強化していく分野であるため特筆した。